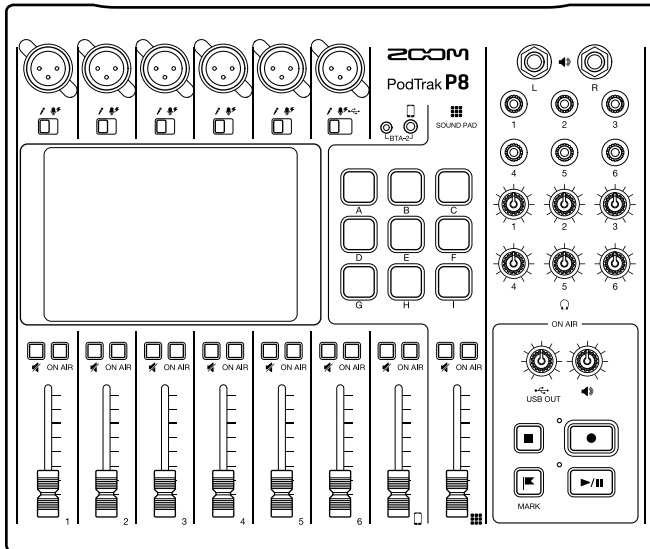


ZOOM®

P8

PodTrak



クイックガイド

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください



オペレーションマニュアルは、ZOOMのWEBサイト (www.zoom.jp/docs/p8) からダウンロードできます。このページには、PDF形式とePub形式のファイルがあります。PDFは、紙に印刷する場合やパソコンでの閲覧に向けたファイル形式です。ePubは、スマートフォンやタブレットでの閲覧に向けたファイル形式で電子書籍リーダーで読むことができます。

© 2021 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

本マニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

P8を使ったポッドキャストイング

1. 収録する

- P8**を使うと、以下のようにポッドキャストの収録ができます。
- 最大6人までのポッドキャスト収録（マイクとヘッドフォンを6組接続可能）。
 - さまざまな補正機能（Limiter、Low Cut、Tone、Comp/DeEsser、ノイズリダクション）で、音声を聴きやすくする。
 - SOUND PADを使って、ジングルやインタビュー音声を鳴らす。
 - スマートフォンを接続して、離れた場所にいるゲストをポッドキャストに出演させる。
 - USB オーディオリターン機能で、パソコンなどから BGM を鳴らす。
 - ポッドキャスト用ステレオファイルを使って簡単にポッドキャストを作成する。
 - マルチトラックファイルを使ってパソコンなどで細かく音量を調節する。

2. 編集する

- 録音したポッドキャスト用ステレオファイルは、**P8**を使って以下のように編集することが可能です。
- 不要な部分をカットし、フェードイン、フェードアウト処理を入れる。
 - BGM を付加する。
 - 用意しておいたオープニング／クロージングを前後に結合する。
 - ラウドネスノーマライズ機能でポッドキャストに適切な音量にそろえる。
 - MP3 に変換する。

3. 公開する

USB ファイル転送モードを使うと、編集したファイルをパソコンなどに転送できます。お使いのホスティングサービス*やサーバーにアップロードしてください。

* ポッドキャスト用ファイルを保存するサーバーを提供するサービス

用語

USB オーディオリターン

オーディオインターフェースとして接続したパソコンやスマートフォン／タブレットからの出力です。ポッドキャストイング中にパソコンなどから BGM を流すことができます。

SOUND PAD

オーディオファイルを割り当て、押されるとそのファイルを再生するパッドです。あらかじめ録音したインタビューを再生したり、オープニングやクロージング用の曲を再生したいときに便利です。

USB Mix Minus

P8 をオーディオインターフェースとして使用しているときに、USB からの入力を USB に出力しないようにできます。パソコンやスマートフォン／タブレットで通話しながら収録するときに、通話先へのフィードバックを防ぐことができます。

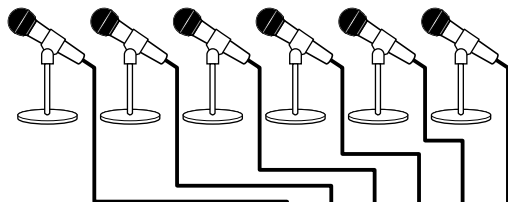
ON AIR キー

ON AIR キーを消灯させて入力した音声は、USB 端子（配信音声）、SPEAKER OUT 端子には出力されず、ポッドキャスト用ステレオファイルにも記録されないため、音楽を流している間に出演者間で次の話題の相談をする場合などに便利です。

接続例

マイク

ダイナミックマイクまたは
コンデンサーマイク

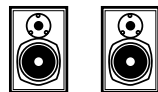


スマートフォン

ポッドキャストにゲストを電
話参加させることができます。

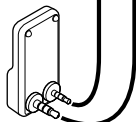


アンプ内蔵スピーカー

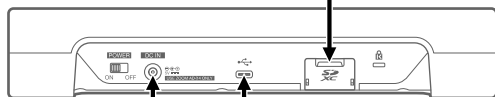


専用無線アダプター (ZOOM BTA-2)

スマートフォン/タブレットとワイ
ヤレスで接続できます。



SD カード



AC アダプター
(ZOOM AD-14)

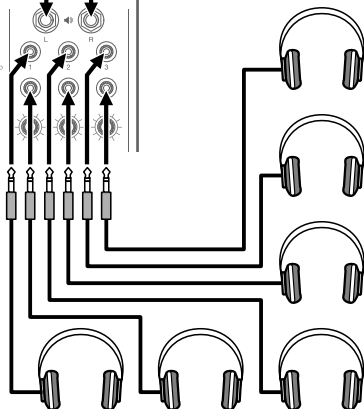
USB Type-C
端子



パソコンまたはスマートフォン/タブレット

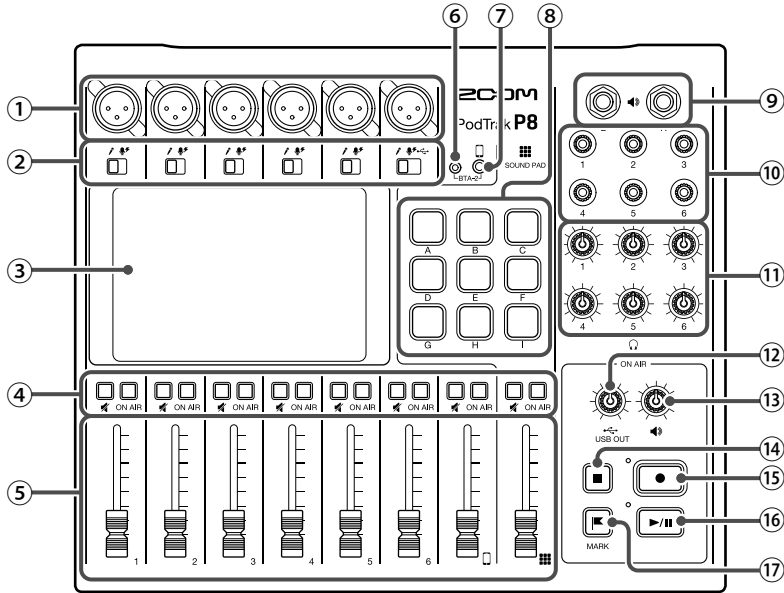
オーディオインターフェース機能でパソコン
などと音声をやり取りしたり、SD カードに
録音した音声を転送して編集することができ
ます。一部通話アプリで使用できない場合が
あります。

ヘッドフォン



各部の役割

■ 上面



① INPUT 端子

マイクプリアンプを搭載した入力端子です。

② INPUT SELECT スイッチ

接続する機器に応じて切り替えます。

🎤: ダイナミックマイク

🔊: コンデンサーマイク (+48 V のファンタム電源を供給します。)

🔌: パソコンやスマートフォン/タブレットから出力される USB オーディオインター

③ タッチスクリーン

P8 の状態を表示したり、各種設定やファイル編集をタッチ操作で行います。

④ MUTE キー

信号のミュートを ON (点灯) / OFF (消灯) します。ミュートしたいときは押して点灯させます。

ON AIR キー

点灯時: チャンネルの信号は、ポッドキャスト用ステレオファイルに記録され、

USB 端子、SPEAKER OUT 端子、PHONES 端子、スマートフォン接続端子に送られます。

消灯時: チャンネルの信号は、PHONES 端子、スマートフォン接続端子のみに送られます。

⑤ チャンネルフェーダー

チャンネルの信号レベルを $-\infty \sim +10$ dB の範囲で調節します。

⑥ BTA-2 用電源端子

専用無線アダプター BTA-2 と接続するときに使用する電源端子です。

⑦ スマートフォン接続端子

スマートフォンを接続します。

⑧ SOUND PAD A ~ I

各パッドに割り当てられている音声を再生します。

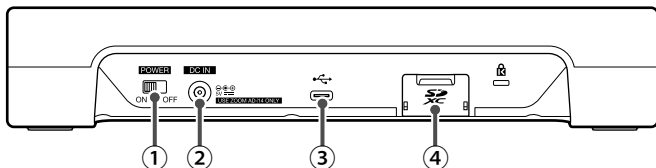
⑨ SPEAKER OUT 端子

各チャンネルの信号をステレオミックスした信号を出力します。パワーアンプ、PA システム、アンプ内蔵スピーカーなどを接続します。

- ⑩ **PHONES 端子**
各チャンネルの信号をステレオミックスした信号を出力します。ヘッドフォンを接続します。
- ⑪ **PHONES ノブ**
PHONES 端子に出力される信号の音量を調節します。
- ⑫ **USB OUT ノブ**
USB 端子に出力される信号の音量を調節します。
- ⑬ **SPEAKER OUT ノブ**
SPEAKER OUT 端子に出力される信号の音量を調節します。

- ⑭ **STOP キー**
録音／再生を停止します。
- ⑮ **REC キー**
録音を開始／終了します。
- ⑯ **PLAY/PAUSE キー**
録音したファイルを再生／一時停止します。
- ⑰ **MARK キー**
録音中／再生中に押すと録音ファイルにマークが付加されます。編集の目印となります。

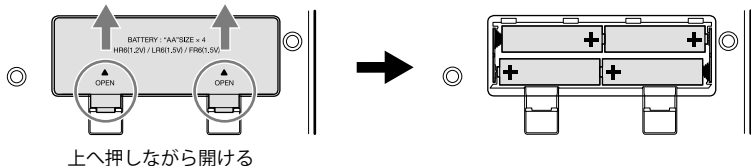
■ 背面



- ① **電源スイッチ**
電源を ON/OFF します。
- ② **DC IN 5V AC アダプター端子**
付属の AC アダプターを接続します。
- ③ **USB 端子 (USB Type-C)**
パソコン、スマートフォン／タブレットと接続する USB 端子です。
- ④ **SD カードスロット**
SDHC 規格対応カード、SDXC 規格対応カードに対応しています。SD カードは **P8** でフォーマットしてご使用ください。

電池の入れ方

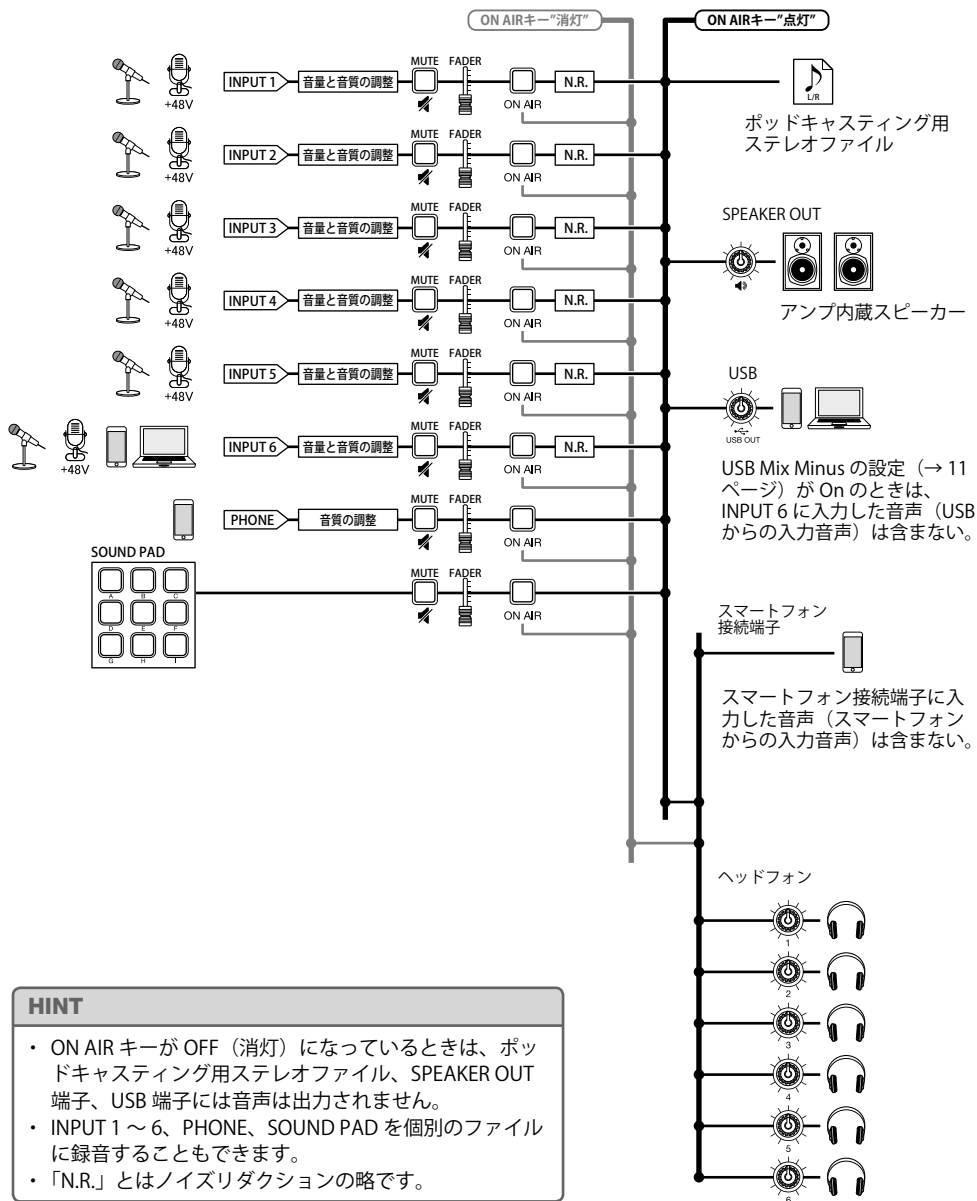
P8 を電池で駆動する場合は、製品底面の電池ボックスの蓋を開け、単三電池を 4 本入れてください。



NOTE

- ・ アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、リチウム乾電池のいずれかを使用してください。
- ・ 電池残量を正確に表示するために、使用している電池の種類を正しく設定してください。
- ・ 電池残量はホーム画面で確認できます。

信号の流れ



HINT

- ON AIR キーが OFF (消灯) になっているときは、ポッドキャスト用ステレオファイル、SPEAKER OUT 端子、USB 端子には音声は出力されません。
- INPUT 1 ~ 6、PHONE、SOUND PAD を個別のファイルに録音することもできます。
- 「N.R.」とはノイズリダクションの略です。

タッチスクリーンの操作

■ ホーム画面について

P8の電源を入れたときにタッチスクリーンに表示される画面です。録音状況や入力レベルなど、P8の状態を表示したり、ボタンをタップすることにより簡単に各機能にアクセスすることができます。

ステータスアイコン

レコーダーのステータスを表示します。

- : 録音中
- ⏸ : 録音一時停止中
- 📌 : マークが付加された
- Remaining Time : 録音停止中

カウンター

現在の録音経過時間
または残りの録音可能時間を表示します。

日時表示

日時、表示言語に関する設定をします。

SDカードボタン

SDカードに関する設定をします。

ライブラリボタン

SDカード内のファイルを表示し、ファイルを管理/編集することができます。

レベルメーター

各チャンネル、ポッドキャスト用ステレオミックスの出力レベルを表示します。



電源ボタン

電源に関する設定をします。

- ACアダプター動作時:
 - USB電源動作時:
 - 電池動作時:
- Full ←→ Empty

トラックボタン

マイクセッティングや音質調整など、各チャンネル入力の設定をします。アイコンは選択した入力によって変わります。

ON AIR 設定ボタン

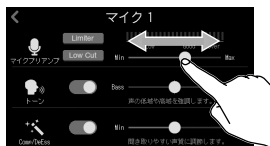
ノイズリダクションの ON/OFF、録音するトラックの設定をします。

■ 各画面での操作

タップやスライドで操作を行います。



選択、オン/オフ: タップ



調節: スライド
(タッチしたまま左右に移動)

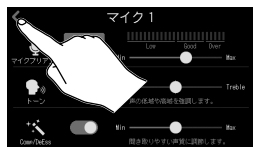


項目のスクロール: スライド
(タッチしたまま上下に移動)

■ 前の画面に戻るには

画面左上 をタップします。

ホーム画面に戻るには、ホーム画面が表示されるまで をタップします。



HINT

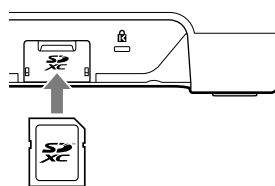
クイックガイドでは、タッチスクリーンで表示される項目名はグレーの帯で表示しています。
例: ノイズリダクション

準備する

■ SD カードをセットする

電源 OFF の状態で SD カードスロットカバーを開き、SD カードをスロットの奥まで差し込みます。

取り出したいときは SD カードを一度スロットの奥に押し込んでから、引き抜きます。




NOTE

- ・ 電源が ON のままで SD カードを抜き差しすると、データを破損させる恐れがあります。
- ・ 市販の SD カードや、他のパソコンで初期化された SD カードを使用する場合は、最初に **P8** で初期化する必要があります。

■ 電源を入れる

電源を操作するときは、外部接続機器の電源が OFF、**P8** の出力ボリュームが最小になっていることを確認してください。

1. 専用 AC アダプター (AD-14) を使用してコンセントに接続する

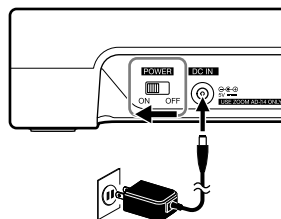
2.  を ON にする

ON OFF


電源が入り、タッチスクリーンにホーム画面が表示されます。

電源を切るときは、 を OFF にします。

ON OFF



NOTE

操作をしない状態で 10 時間が経過すると、自動的に電源が切れます。常に電源を ON にしたい場合は、SOUND PAD  を押しながら本体の電源を ON にして、オートパワーオフの設定をオフにしてください。

■ 日付／時刻、言語を設定する

ご購入後、初めて電源を ON にした場合は、タッチスクリーンに日付／時刻、言語の設定画面が表示されます。

タップしてタッチスクリーンに表示する言語を選択します。



設定が終わったらタップします。

Year (年)、Month (月)、Day (日)、Hour (時)、Minute (分) をタップして設定します。

日付／時刻、言語の設定は、ホーム画面で日時表示をタップして後から設定し直すこともできます。

■ ノイズリダクション、録音するファイルを設定する

日付／時刻、言語を設定した後、タッチスクリーンにノイズリダクションの ON/OFF、録音するファイルの設定画面が表示されます。



ノイズリダクション ON/OFF 設定

P8 に搭載されているノイズリダクションは、複数のマイクを使用して音声収録をするときに、発言していない人のマイク入力を自動で減衰させることでバックグラウンドノイズを一定のレベルに抑える機能です。

録音するファイルの設定

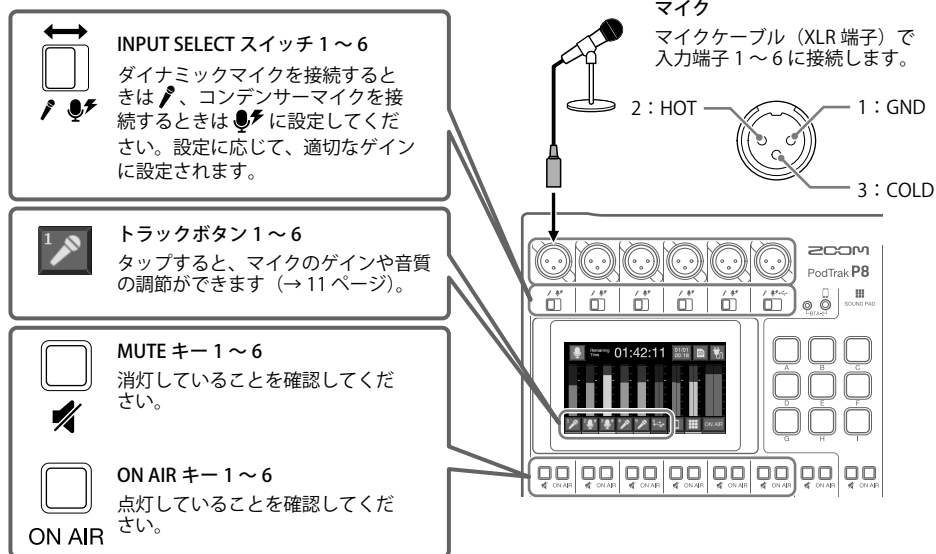
オフ：ポッドキャスティング用ステレオファイルのみ記録します。

オリジナル：ポッドキャスティング用ステレオファイルに加え、各チャンネルの入力信号を個別のファイルとして同時に SD カードに記録します。



音質調整後：ポッドキャスティング用ステレオファイルに加え、各調整後の各チャンネルの入力信号を個別のファイルとして同時に SD カードに記録します。

ノイズリダクション、録音するファイルの設定は、ホーム画面で **ON AIR** をタップして後から設定し直すこともできます。

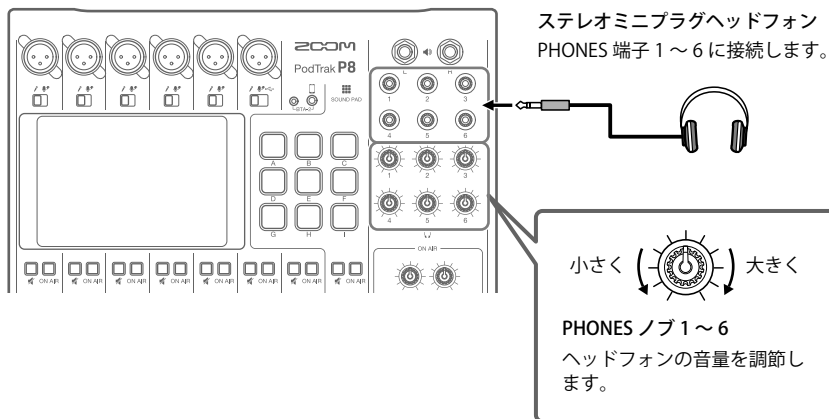
■ マイクを接続する



NOTE

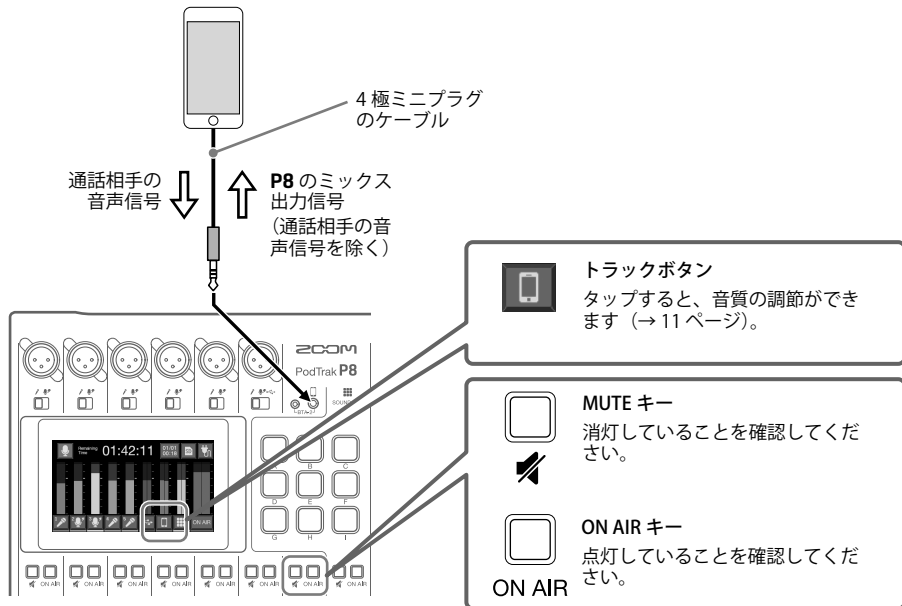
INPUT SELECT スイッチを  にすると、入力端子に +48 V のファンタム電源を供給します。ファンタム電源に対応していない機器を接続する場合は、INPUT SELECT スイッチを  にしないでください。機器が破損することがあります。

■ ヘッドフォンを接続する



■ スマートフォンを接続する

ポッドキャストにおいて、電話参加のゲストの音声を入力することができます。4極ミニプラグのケーブルを使うことで、スマートフォンからの入力と同時にモノラル信号をスマートフォンに返します。この出力信号にはスマートフォンの音声は含まれないため、電話参加のゲストにエコーが発生することはありません。

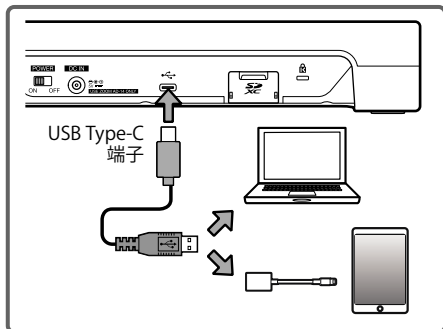


■ パソコンやスマートフォン／タブレットを USB 接続する

オーディオインターフェース機能でパソコンなどで再生した音楽やインタビューなどをチャンネル6に入力したり、P8で入力した音声、SOUND PADで再生した音声をそのままライブストリーミングできます。

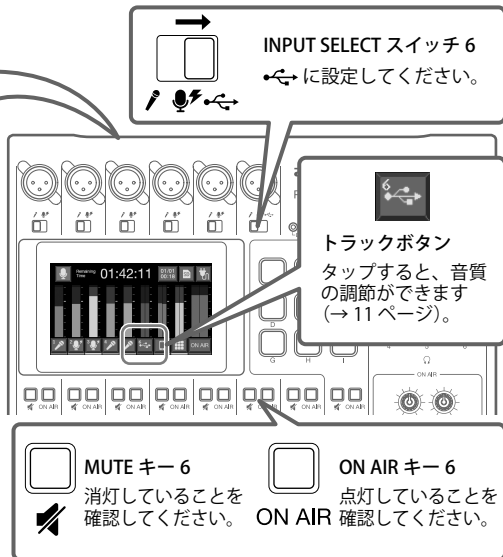
また、SDカードに録音した音声を転送して編集することもできます。(→13ページ)

※ データ転送に対応したUSBケーブルを使用してください。



NOTE

- Lightning コネクタを搭載した iOS/iPadOS デバイスと接続するには、Lightning - USB カメラアダプタ / Lightning - USB 3 カメラアダプタが必要です。
- スマートフォン／タブレットを接続する際は、接続する前に、電源設定画面からタブレットモードの設定をオンにしてください。



HINT

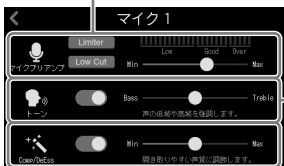
INPUT SELECT スイッチ 6 を以外にした場合でも USB 端子に出力は可能です。

■ 各トラックの音質を調節する

ホーム画面でトラックボタン (1 / 2 / 6 /) をタップすると、各トラックの設定画面が表示され、音質を調節することができます。

1 / 2 : マイク入力の設定

Limiter, Low Cut の設定、マイクのゲイン調節をします。

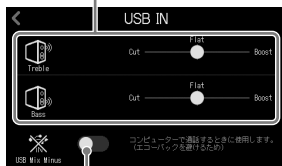


Comp/DeEss の調節をします。

トーンの調節をします。

6 : USB 入力の設定

Treble, Bass のブースト／カット量を調節します。

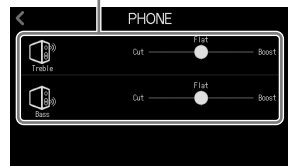


USB Mix Minus 設定

ON にすると USB 入力した音声を USB 出力しません。

: スマートフォン入力の設定

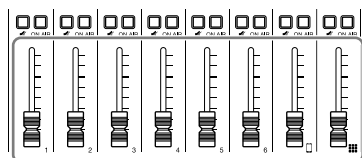
Treble, Bass のブースト／カット量を調節します。



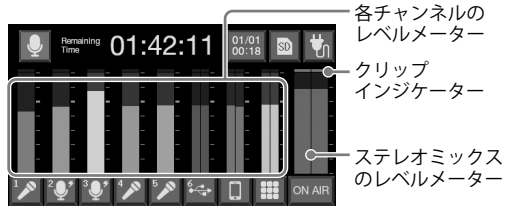
録音する

■ フェーダーを操作して各チャンネルのバランスを調節する

ステレオミックスのクリップインジケーターが点灯しないように調節します。



各チャンネルの出力を調節します。




■ 録音する

「ノイズリダクション、録音するファイルを設定する」(→9ページ)で設定したファイルをSDカードに録音できます。


1. を押す

録音が始まり REC インジケーターが赤色に点灯します。

録音中に  を押すと、録音を一時停止します (REC インジケーターが点滅)。もう一度押すと、録音を再開します。録音経過時間はホーム画面に表示されます。

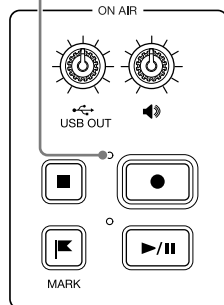
2. または を押す

録音が終了します。

録音中に  を押すと録音ファイルにマークが付加されます。編集時に目印となり便利です。

録音した各チャンネルの個別ファイルには、フェーダーの音量調節は反映されません。

REC インジケーター





再生する

録音したファイルを再生できます。

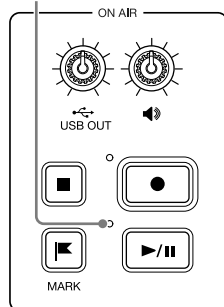
1. を押す

タッチスクリーンにファイル編集画面が表示され、最新の録音ファイルの再生が始まります (PLAY インジケーターが緑色に点灯)。

 を押す度に再生/一時停止します (一時停止時はPLAY インジケーターが点滅)。 を押すと再生を停止します。



ファイル編集画面では、ファイルの編集、アイコンや名前の変更、SOUND PAD への割り当てなどができます。

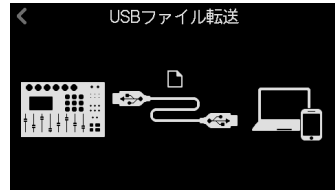
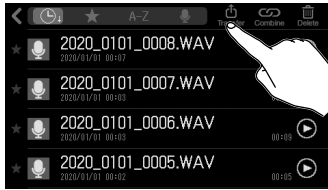
PLAY インジケーター



パソコンやスマートフォン／タブレットにファイルを転送する

■ 接続する

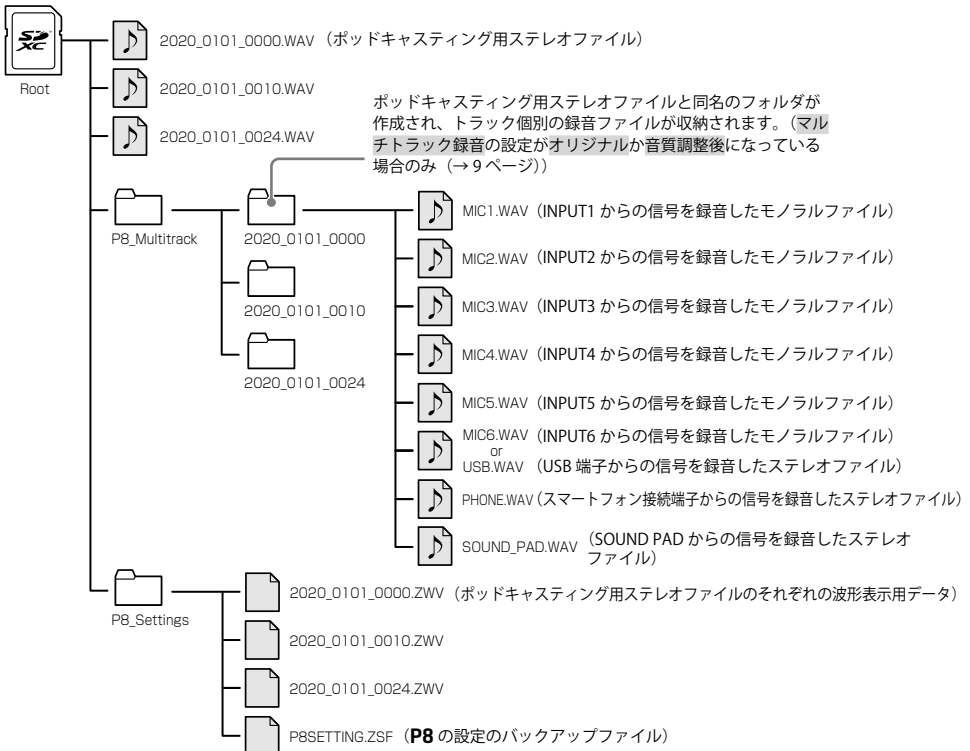
1. ホーム画面で  をタップする
2.  をタップする



3. P8 とパソコンまたはスマートフォン／タブレットを USB ケーブルで接続する (→ 11 ページ)

■ P8 のフォルダー・ファイル構成

P8 で録音すると、SD カードに次のようなフォルダー・ファイルが作成されます。



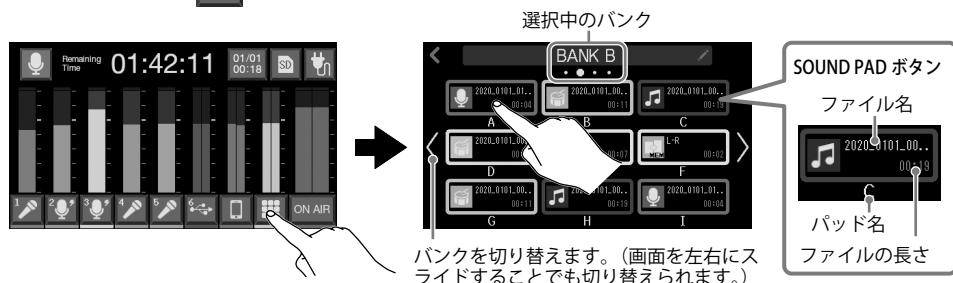
SOUND PADを使用する

SOUND PAD はオーディオファイルを割り当て、押されるとそのファイルを再生するパッドです。9個のSOUND PAD × 4つのバンクで計36個のオーディオファイルを割り当てることができます。あらかじめ録音したインタビューを再生したり、オープニングやクロージング用の曲、ジングルを再生したいときに便利です。各パッドごとに、音量、再生方法を設定することもできます。

■ SOUND PAD の設定を行う

SOUND PAD にオーディオファイルを割り当てたり、各 SOUND PAD の音量／再生方法を設定します。

1. ホーム画面で をタップし、設定したい SOUND PAD ボタンをタップする



2. SOUND PAD の設定を行う

オーディオファイルの割り当て
ファイル名をタップすると内蔵音源とSDカードに保存されているオーディオファイルのリストが表示されます。割り当てたいオーディオファイルを選択してください。

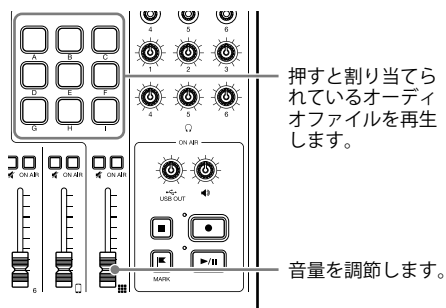
SOUND PAD の音量調節
スライドして調節します。



SOUND PAD を押したときの再生方法

- One Shot : 押すたびに先頭から再生し、終わりまで再生したら停止します。
- Pause : 押すたびに、再生・一時停止を交互に行い、終わりまで再生したら停止します。長押し (2 秒) すると先頭に戻ります。
- Loop : 押すたびに、再生・停止を交互に行い、停止するまでループ再生します。
- Hold : 押し続けている間ループ再生し、離すと停止します。

■ SOUND PAD を再生する



NOTE

SOUND PAD には、SD カード内の P8_Multitrack、P8_Settings フォルダ以外の場所に保存されているファイルを割り当てることができます。パソコンからファイルを追加する場合は、これらのフォルダ以外の場所に保存してください。

機能一覧

ミキサー		最大6つのマイク、USBオーディオリターン、スマートフォンからの入力音、SOUND PADからの再生音をミックスできるミキサーを搭載しています。
	マイク入力	マイク入力には、高品位なマイクプリアンプを搭載しています。各チャンネルには、Limiter、Low Cut、Tone、Comp/DeEsserが搭載されています。また、バックグラウンドのノイズを低減するノイズリダクションを搭載しています。
	スマートフォン/ BTA-2入力	4極ミニプラグ(TRRS)のケーブルを使用すると、スマートフォンと接続することができます。また専用無線アダプター BTA-2を接続することで、Bluetooth経由でスマートフォンとP8を接続することができます。
	SOUND PAD	SOUND PADはオーディオファイル(WAVフォーマット)を割り当て、押されるとそのファイルを再生するパッドです。9パッド x 4バンクの最大36のファイルを割り当てることができます。各パッドは、レベル、再生方法を設定することができます。工場出荷時には13個のサウンドが内蔵されています。
レコーダー		各チャンネルをミックスしたポッドキャスト用ステレオファイルの他、各チャンネルも個別のファイルとして録音することができます。各チャンネルの録音は、信号処理通過前、Tone/Comp/DeEsser通過後から選択することができます。
USB	オーディオ インターフェース	2in 2out のUSB オーディオインターフェースとして使用できます。電話参加のゲスト側にエコーが発生することを防ぐ、USB Mix Minusを搭載しています。
	USBファイル 転送	パソコンやスマートフォン/タブレットと接続して、カードリーダーとして使用できます。
ファイル編集		P8では、各チャンネルをミックスしたポッドキャスト用ステレオファイルを編集することができます。ファイルに対して行える操作は下記のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • ファイル削除 • トリム • フェードイン • BGM付加 • お気に入りの登録 • MP3変換 • ファイルの結合 • ファイル分割 • フェードアウト • ラウドネスノーマライズ • アイコン登録 • ファイル名の変更
設定	SDカード	初期化 カード性能をテストする 機器設定の保存/読み込み
	電源	電池に関する設定 スマートフォン/タブレットをUSB接続するときの電源設定 タッチスクリーンの明るさ調整 電源自動OFF機能
	その他	日付/時刻の設定 言語の設定

HINT

詳細は、オペレーションマニュアルを参照してください。



株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3
zoomcorp.com